

大学の先生，学生が2万個を積んだ！

都留文科大学のつみ木広場シンポジウムで楽つみ木遊戯を体験。

会場を埋めた感激の作品。

都留文科大学地域交流研究センターのフィールド・ミュージアム企画『「つみ木ひろ場」シンポジウム』が平成18年6月22日(木)、同大学コミュニケーションホールで開催され、木楽舎楽つみ木研究所も参加させていただきました。開催ありがとうございました。

子どもの遊びや文化について、積み木を通して考えてみようという開催趣旨で、保育関係者や教員、学生たちが実際に積み木を積む遊戯を体験し、フリートークを行いました。

都留文科大学の先生方、元都留文科大学長の大田堯先生、大学生の皆様、都留市立図書館の方々、保育現場の先生方、小学校の先生方、市民の方々、また広島の子ども図書館の方々などなど、多くの方々が参加されての『つみ木ひろ場』は圧巻でした。

会場では、午後1時から5時まで、10代の若者から80代の青年まで、ひとつの広場を共有し、ひとつの作品が出来上がりました。参加者はなんと80名。広い会場が狭く感じる程のたくさんの皆さんの参加で、最後は2万個の積み木が足りなくなりましたが、皆さんがうまく作品をつなげてくださいました。

木楽舎メンバーも二階からの景観は衝撃的でした。最後に全体がつながったのを二階から皆さんと観たとき、本当に素晴しかったです。

皆さんもしばらく二階で佇まれてご覧になっていらっしゃいました。

つみ木ひろ場の後に開かれた意見交換の会では、教育関係の方々の貴重なご意見をたくさんうかがう事ができましたし、こどもを育む活動をされているの方々のご意見もうかがえて、学ぶことができました。

ありがとうございました。

つみ木ひろ場の会場設営と片付けを、一生懸命にテキパキと手伝ってくださった都留文科大学の学生の皆様大変お疲れさまでした、そして大変ありがとうございました。

最後になりましたが、今泉吉晴先生、北垣先生、畑先生、青池様には、長い準備の期間からたいへんお骨折りいただきありがとうございました。

参加者からいただいた声を一部だけ紹介させていただきます。(楽つみ木掲示板より引用)

<都留市立図書館さん>

つみ木シンポジウムありがとうございました。6月22日に開催された「都留文科大学“つみ木広場シンポジウム”～つみ木広場の体験と交流の会」に参加しました。保育、教育、市民、図書館と広範な交流ができ感動でした。(心配していましたが、おとなにもつみ木が積めました。)遠く広島県の「ほんごう子ども図書館」の皆さんが早朝4時出発で車で駆けつけられたこと、そして、元都留文科大学長の大田堯先生が参加されたことには、参加者一同驚くやら感激するやらでした。広場体験の後の意見交換会も大変有意義なものでした。

<たくろーさん>

昨年度都留大を卒業し、現在は横浜市立大学の修士課程におります、たくろーです。

つみ木を夢中で組み立てていった結果、「多分昔の自分もこんな感じのものを作っただろうな」と思える形になり、懐かしいような、一方で新しい何かを発見したような気持ちになりました。また、最後に赤い絨毯の上で全体がつながったときの感動的な景観は衝撃でした。

木楽舎さん、北垣先生、都留市立図書館さん、他皆様、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。創造的なあそびの提案という視点は、今後の研究や自身の関わるNPO活動に活かしたいと思います。

